

令和元年度第2回自治体等FM連絡会議大阪府地域会の開催報告について

大阪府地域会代表幹事

(高槻市総合戦略部アセットマネジメント室) 小川 公子

去る令和2年1月24日、大阪樟蔭女子大学との共催により、平成31年3月に一次開園した高槻市の安満遺跡公園のパークセンターを会場として、令和元年度第2回自治体等FM連絡会議大阪府地域会を開催しました。

安満遺跡公園では、「公園を経営する」という姿勢を念頭に、各種のサウンディングを実施して事業者募集を行い、施設の整備・運営や、指定管理者での管理運営を行っています。また、歳入拡大の工夫として、ネーミングライツやふるさと納税制度を活用した寄付金募集を行っているほか、ベンチや樹木の寄付も実施しています。今回は事業概要の簡単な説明とともに、現地での見学も行いました。



後半はグループワークとし、公民連携、個別施設計画及び保全・長寿命化の3つのテーマごとに6グループに分かれ、情報交換を行いました。

「公民連携」については、PFIがどの事業にも合うものではないということ、包括委託については、自治体によって目指す考え方が異なっていることなどの意見が出されました。「個別施設計画」については、策定の体制や市民説明について、国から求められている令和2年度までに、どのレベルでの計画策定

を目指すか、また、市民説明の役割分担などの意見が交換されました。「保全、長寿命化計画」については、点検結果をどのように保全計画に活かすかということや、予算付けについて、活発な意見交換が行われました。

グループごとに話し合った内容を発表していただいたのち、大阪樟蔭女子大学の辻先生より、公共施設の再配置は都市計画そのものであるといったことや、点検結果の報告を持続させるためには、小さくてもいいので、レスポンスが必要だといったご意見も踏まえながらご講評をいただくとともに、FMの展望について少しご紹介いただきました。

短い時間でしたので、グループでの討議を深めることはできませんでしたが、情報交換のきっかけづくりになっていればと思います。事後のアンケートでは、発表だけでは他班で出た意見などがわかりづらいのご指摘もいただきましたので、次回以降の課題としたいと思います。

今回も大阪府内にとどまらず、兵庫県や奈良県からもご参加をいただき、他県の状況もお伺いすることができました。皆様には厚く御礼申し上げます。

地域会の役割も年々変化していると感じておりますが、実際に顔を合わせる場として、来年度以降も続けられるよう取り組んでいきたいと考えておりますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

